

保険・年金 フォーカス

中国保険市場の最新動向(2)

32 の地域別でみる中国保険マーケット —成長スピードは「西高東低」—

保険研究部 研究員 片山 ゆき
(03)3512-1784 katayama@nli-research.co.jp

1 | 医療保険・傷害保険が成長をそと後押し

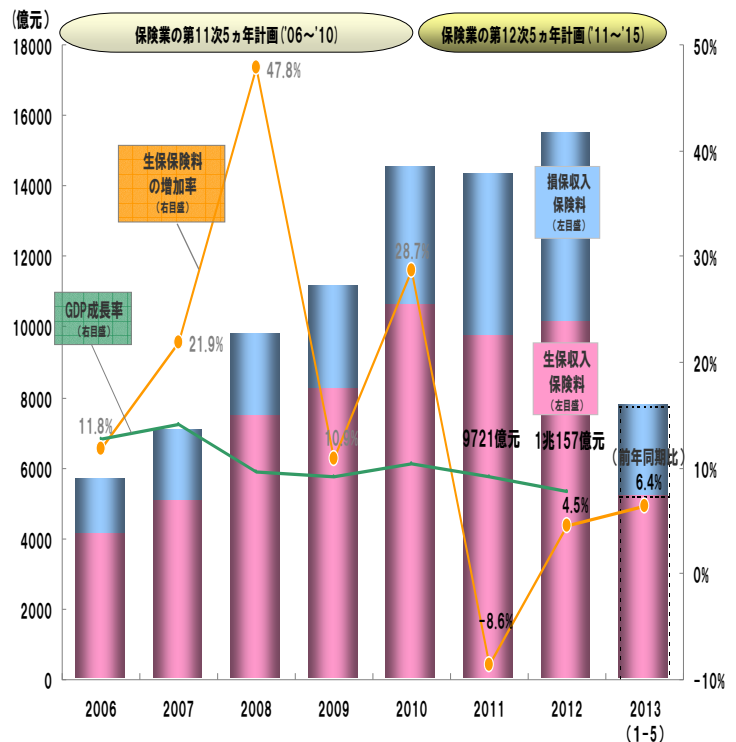
中国の生保市場は緩やかではあるが、成長のスピードを取り戻しつつある。

生命保険市場について、2011年は銀行窓販の規制強化、銀行の理財商品との競争による一時的な販売力の低下が見られた。収入保険料は1兆元（約16兆円）を割り込み、16年ぶりに減少したが、翌2012年は前年比4.5%増、2013年（1～5月）は（前年同期比）6.4%増にまで回復している（図表1）。直近の2013年1～5月の保険料収入について、中国保険監督管理委員会（保監会）が公表した狭義の生命保険（死亡保障など）、医療保険、傷害保険の種目別3種を見ると、全体のおよそ9割を占める狭義の生命保険は前年同期比4.3%増で

あるのに対して、全体に占める割合は1割ではあるものの医療保険、傷害保険はそれぞれ26.1%増、19.3%増と大幅に増加している。これには保監会による各社への商品構成の改善指導（保障性商品の構成比の引上げ）に加えて、政府による新たな取組みも後押ししているといえよう。

政府は2012年8月に、これまでの公的医療保険制度に加えて重大疾病等、入院が長引いた場合の高額な医療費を補填する制度（「大病医療保険」）を開始している。この制度は地域住民を対象に、高額な公的医療費部分について保険会社が給付するもので、地元政府が公的医療保険の積立金から保険料を拠出して契約を結んでいる。

図表1 中国保険市場の保険料収入推移



〔出所〕中国保険監督管理委員会発表より作成

2 | 北京と西藏(チベット)、1人あたりの保険料拠出の差は14倍

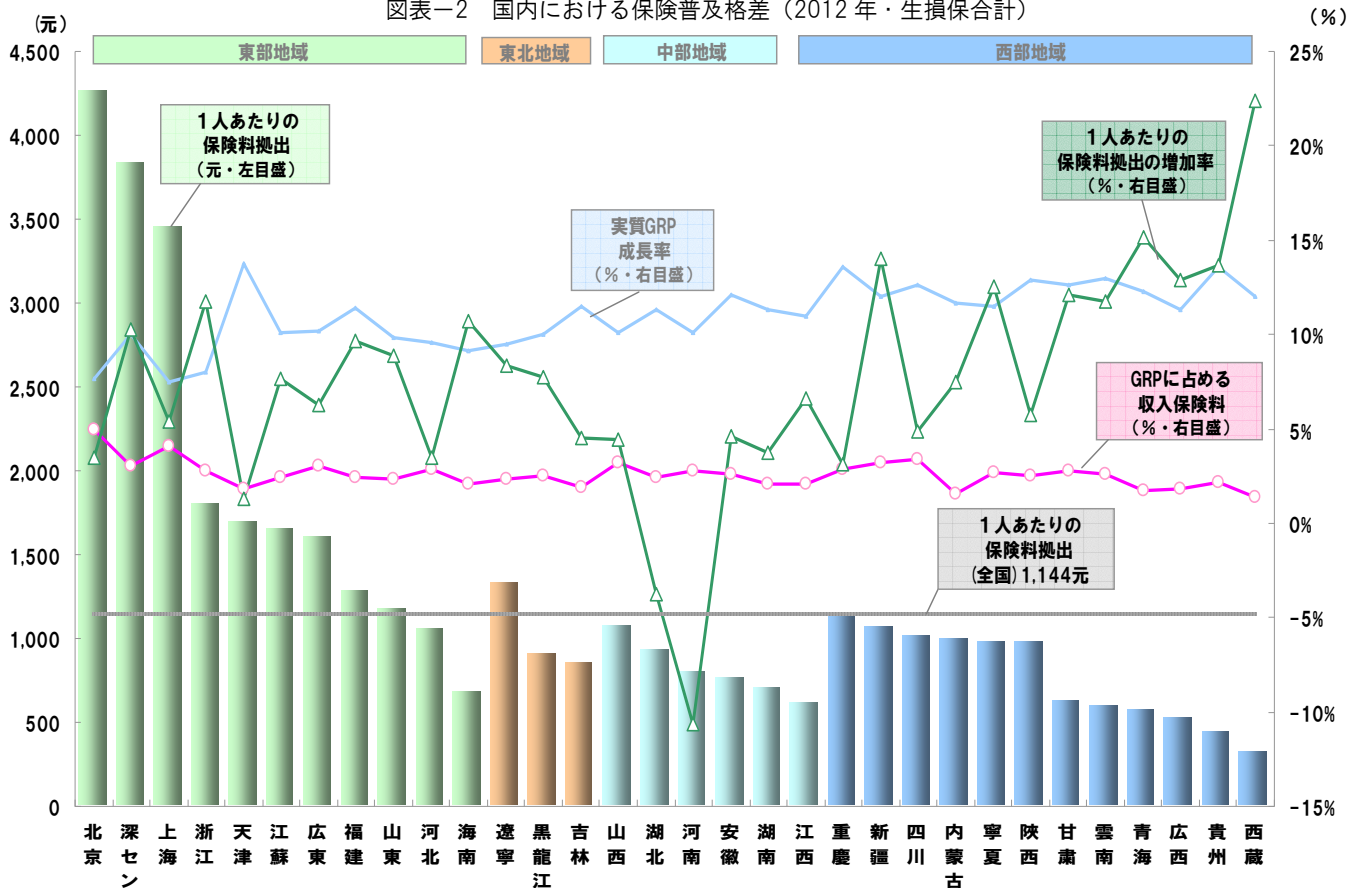
一方、2012年の各地域における保険の普及状況はどうであろうか。2012年の「1人あたりの保険料拠出(生損保合計)」をみると、全国平均値は1,144元(約18,000円)で、2011年より82元(約1,300円)増加したが、地域別には引き続き大きな格差がある(図表-2)。

地域別でみると、経済が発展し、所得の高い東部地域の普及が最も進んでおり、中でも北京市、深圳市、上海市が突出している。東北地域、中部地域、西部地域に属する多くの地域では全国平均値の1,144元以下であるのに対して、1人あたりの保険料拠出が最も多い東部地域の北京市(4,269元、約68,000円)は全国平均値の3.7倍の規模となっている。

また、1人あたりの保険料拠出が最も少ない西藏(チベット)自治区(309.7元、約5,000円)は全国平均値の約1/4となり、北京市の1/14にとどまるなど、普及の格差は大きい。

1人あたりの保険料拠出が2011年と比較してどれくらい増加しているのかをみると、政府による西部大開発の第2ステージに入った西部地域で、インフラ投資やエネルギー開発による経済成長や所得の増加を背景に大きく伸びており、特に、西藏(チベット)自治区では、前年より22%増加している。西藏(チベット)自治区はマーケット規模そのものはまだ小さいものの、収入保険料ベースでは7割を損保、3割を生保が占めており、生保については公的医療保険制度が未整備であることから、医療、傷害保険が収入保険料の7割を占めるといった特徴を持っている。一方、保険の普及した東部地域の深圳市や浙江省などにおいては、西部地域と比較して小幅ではあるものの、前年と比較して10%以上増加しており、更に普及が進んでいる。

図表-2 国内における保険普及格差(2012年・生損保合計)



〔注〕上表の広東省は深セン市を除く。

〔出所〕中国地域金融運用報告(2012年、2011年)、各地域の国民経済・社会発展統計公報、各地域の政府発表より作成

3 | 市場の成長スピードは「西高東低」

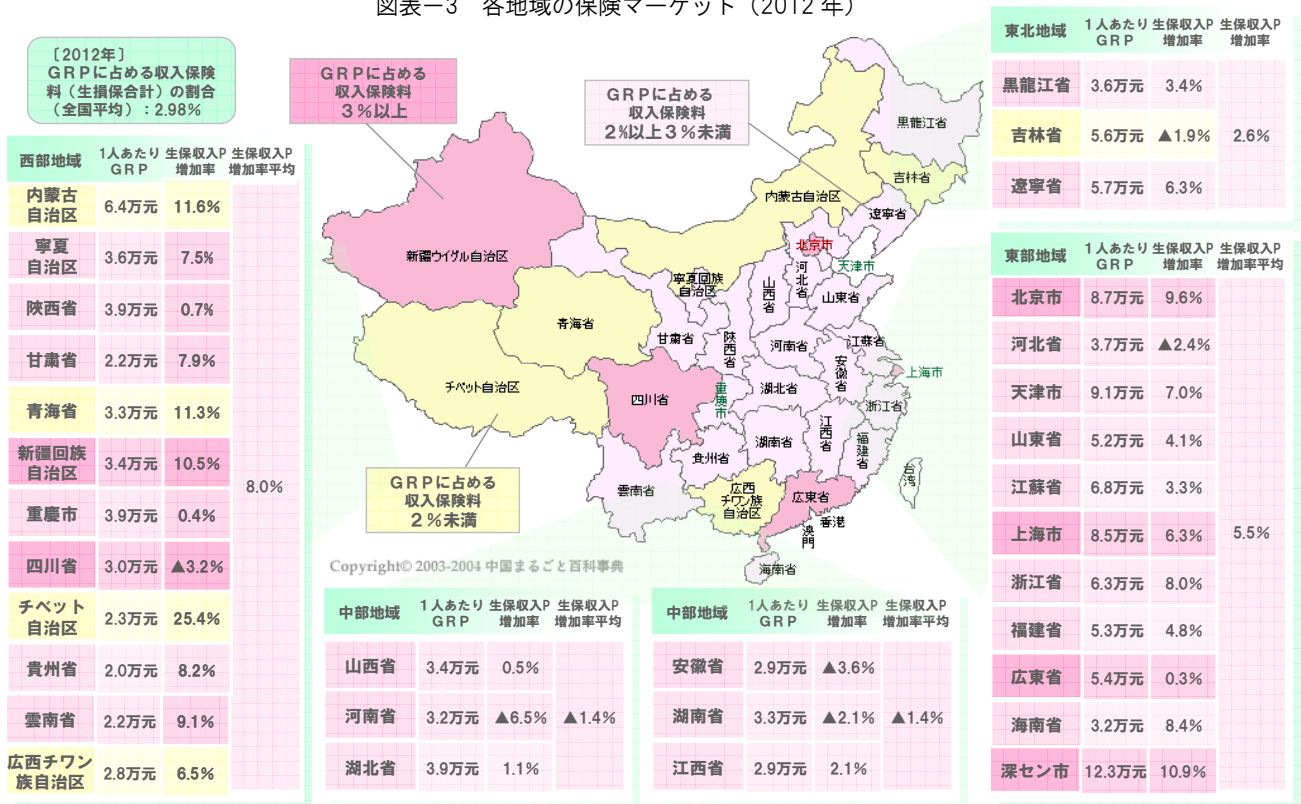
2012年の生命保険の収入保険料は全体として前年比4.5%増と緩やかに増加しているが、成長のスピードは地域によって大きく異なっている(図表-3)。

東部地域では経済成長に地域差があるものの、生保収入保険料は地域全体で前年比5.5%増加した。特に、北京市(前年比9.6%増)、深圳市(前年比10.9%増)、浙江省(前年比8.0%増)といった保険が普及した地域では生保収入保険料の増加率が経済成長率を上回り、2011年からの市場の建て直しも速かった。

中部地域、東北地域では経済成長そのものはいずれも10%程度またはそれ以上と安定して高いものの、生命保険市場については総じて低い成長となっている。特に河南省(前年比6.5%減)、安徽省(前年比3.6%減)等を含む中部地域では生保収入保険料が地域全体としても前年を割り込み(前年比1.4%減)、加えて東北地域でも2.6%増と微増にとどまるなど、両地域は他地域と比較しても回復が遅れた状態にある。

一方、第12次5ヵ年計画の重要施策として西部大開発が更に進められ、経済成長の目標値が高く設定されている西部地域は経済成長に引っ張られる形で、収入保険料も地域全体で8.0%と大幅に増加している。西部地域は生保のマーケット規模がまだ小さいものの、その中でも保険の普及の進んだ新疆回族(ウイグル)自治区等では国有系生保を中心に保険会社の進出も進んでいる。また、現段階では保険の普及がそれほど進んでいない内蒙古(内モンゴル)や青海省、チベット自治区といった地域でも経済成長とともに前年比10%増と大幅な増加が見られるなど、地域全体の底上げが急速に進んでいる。中国の保険市場は2012年も成長が緩やかな東部地域が市場を牽引しつつ、成長が著しい西部地域がそれを追う形で成長している。

図表-3 各地域の保険マーケット (2012年)



【出典】中国地域金融運用報告(2012年)、各地域の国民経済・社会発展統計公報、各地域の政府発表より作成

¹ 保険料収入が減少した要因として、2011年より新たな保険会計規則が導入された点も挙げられる。旧会計規則に基づいて算出された生保55社会計の収入保険料では前年比5.1%増となっている。